

磨耗・焼付き・かじりトラブル 1 チタンボルトとナット間で焼付き発生

・事例 チタン製ボルトの焼付き

チタン製ボルト/ナットを緩める時に焼付きが生じ困っています。

何か対策はないでしょうか？

・原因 チタン製ボルト/ナット（チタンは表面硬度が相対的に柔らかいため）

・対策 ボルトの焼付きはネジ表面の硬度に依存し、表面硬度の低い物ほど焼付き易くなります。従って、純チタンよりチタン合金の方が焼付き難く、また、同一材種であれば、切削ネジよりも表面硬度が上がる転造ネジの方が焼付き 難くなります。

焼付き防止策としては窒化处理、浸炭処理、酸化処理、メッキ等が有ります。処理条件については各処理業者さんにご相談され、試作を行った上で確定される事をお薦めします。

また、締め付けたネジを緩める場合は潤滑油(例えばCRC556)を吹き付ける事も有効です。